



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年11月30日（水）



図工室では、4年生が版画制作に取り組んでいました。先日、高学年のスチロール版画についてお伝えしましたが、4年生は、彫刻刀で板を彫る木版画が学習内容となっています。彫刻刀を安全に使えるよう、手を置く位置や彫り方を学びます。彫刻刀で彫るときの手ごたえや音、スルスッと刃が進むたびに出てくる木くずなど、これまで味わったことのない感覚に魅力を感じる子も多くいます。今回は黒色インクで刷りました。刷り上がった作品は、モノクロならではの迫力とどこかノスタルジックな雰囲気漂っています。自分のイメージ通りに刷り上がると、子供たちも笑顔になります。



理科の学習は3年生から始まりますが、複雑な実験はあまりないので、ほとんど教室で学習しています。それでもいくつかの単元では、理科室で実験しています。今日は、2回目の理科室でした。子供たちは、学ぶ場所が変わると特別感があり、少し落ち着きがなくなってしまう。事故にならないよう、先生も注意すべきところは毅然と注意します。

本時は、物と重さの学習です。形や体積に着目して比較します。スチール缶とアルミ缶、プラスチックスプーンとスチールスプーンは、子供たちの予想通りスチール（鉄）が重いことがわかりました。それでは、食塩と砂糖は、どちらが重いでしょうか。これは大人でも少し迷う問題です。子供たちも、意見が分かれました。実験は、カップに食塩と砂糖をそれぞれ摺り切りいっぱい入れて電子天秤で計測しました。同じ体積でも食塩と砂糖では、かなり重さが違うことがわかり、子供たちもびっくりしていました。

そういえば、スーパーで売っている食塩と砂糖は、同じ重さでもパッケージの大きさがずいぶん違いますよね。



本日から授業参観・懇談会が始まりました。感染症予防のため、保護者の皆様には、時間制でお子様の様子をご覧いただくなど、なにかとご不便をおかけしておりますが、ご協力いただき感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学年閉鎖も重なってしまい、子供たちの様子を見ていただけなかったり、オンラインでの懇談会にもご協力いただいたりして、このことにも感謝申し上げます。ありがとうございました。

